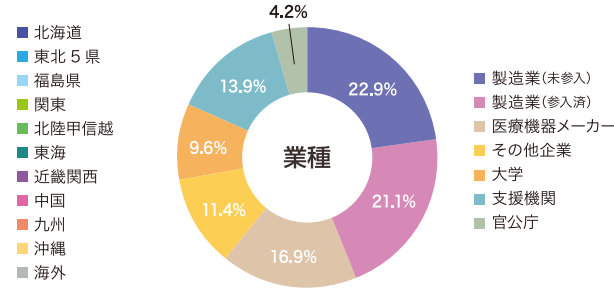
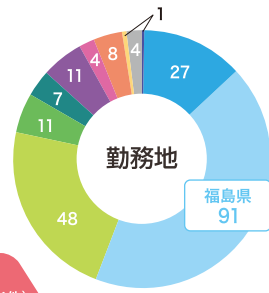


参加者分析 (合計3,716名 [ 27日(木)/1,844名 28日(金)/1,872名 ] )

出展者

213 企業・団体  
福島県内 91 / 県外 122



出展者アンケート結果 (回答数:166件)

出展者・参加者の交流

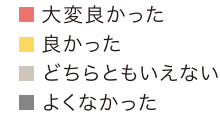
2日間のブース訪問者数	8,959件
2日間で交換した名刺枚数	6,655件
後日の面談や見積送付	322件
受注見込みの高い商談	137件
連携や商談継続に期待できる案件	278件

出展者の声

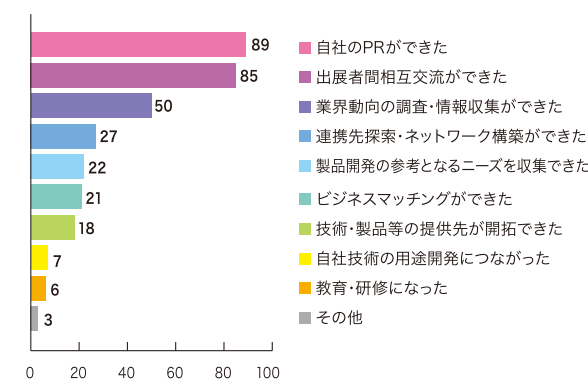
自社製品を多くの医療従事者に見ていただき、また医療現場における苦衷や改善点など率直な意見を聞く事ができ勉強になった。(出展者/製造業[初出展])

様々なサポートが整っており、医療分野に本格参入しようとしている中小企業にとって大変心強く感じた。今後の自社製品展開において、具体的な取引先との連携など、実益も兼ねた二日間となった。(出展者/製造業[初出展])

● 出展した感想



↓ 大変良かった・良かったと回答した理由 (複数選択)

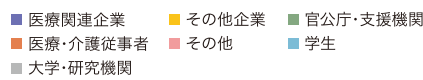


来場者の一部をご紹介します!

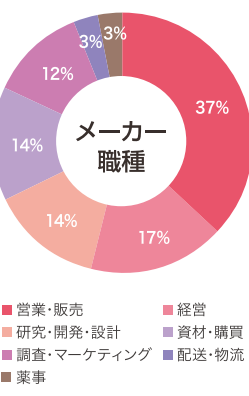
会津オリンパス	フィリップスジャパン	シバタインテック
アルファメッド	フクダエム・イー工業	日本ビー・エックス・アイ
エクスターメディカル	富士システムズ	ゼビオホールディングス
オリンパス	富士フィルム	石井工務店
カーディナルヘルス	ベアメディック	大和ハウス工業
キャンメディカルシステムズ	ミスホ	野村證券
小池メディカル	メディカルリーダーズ	秋田大学
コスモスウェブ	メディキット	医療創生大学
ジョンソン・エンド・ジョンソン	メドライン・ジャパン合同会社	日本大学大学院
シラカワ	メニコン	大阪大学
白河オリンパス	メリットメディカル・ジャパン	駒澤大学
東工医科工業	リブドゥコーポレーション	信州大学
武田薬品工業	YDM	長崎大学
TSUBOTAリサーチ・ソルジャリティ	参天製薬	宮崎大学
デュランティス	三宝製薬	奥羽大学
東京貿易メディス	Meiji Seika ファルマ	福島大学
ニコン	村中医薬器	福島県立医科大学
ニプロ	サンセイ医機	他多数

(順不同、出展担当者除く)

来場者



医療関連企業のうち医療機器メーカーの内訳



開催報告書

2022 10/27(木)・28(金)

会場 ビッグパレットふくしま  
福島県郡山市南二丁目52番地

第18回 医療機器設計・製造展示会

メディカルクリエーション  
ふくしま2022



国内外から  
213の企業・大学  
医療機器メーカー等  
が出展

3年ぶりのリアル開催

ものづくり企業、  
医療機器メーカー、大学、  
支援機関、医療従事者等の  
関係者が全国から集結!

医療技術の最前線に

見て・触れて・体感する

メディカルクリエーションふくしま2022は「医療技術の最前線に見て、触れて、体感する」をテーマに、3年ぶりのリアル開催を実現し、長引くコロナ禍の中で失いがちな関係者間の繋がり再生・新生に取り組みました。最新の医療機器をそろえた「手術室・集中治療室(ICU)」コーナーと、対をなすレトロな医療機器との比較展示、日本で唯一の走る災害医療ステーション「Medical- ConneX」や遠隔治療支援を目指す「モバイルスマート治療室」の展示は、来場者を惹きつけ、大好評を収めました。北は北海道から南は沖縄まで、全国の医療機器開発を推進する大学や医療機関、支援機関など47拠点が一堂に集結し、ものづくり企業と協力した医療機器・新技術の開発、新事業・イノベーションの創出につながるアイデアを共有しました。専門家や学生によるツアーや名刺交換・交流会も含め、まさにリアルの交流が生まれた2日間は約3,700名が訪れ、盛況のうちに終了することができました。

特別企画 模擬病院へ行こう

～技術の進歩で医療の標準が変わる!～

最新の医療機器と昭和時代前半の機器を隣接展示し、医療技術の進歩を体感していただきました。

手術室・集中治療室(ICU)  
(医療現場の再現で最先端医療を体感)

モバイルスマート治療室  
(第5世代移動通信システム(5G)・遠隔診断・治療支援実演)

Medical-ConneX  
(CT装置と生化学・免疫装置を同時搭載した医療車両の展示)

医科器械の歴史展

模擬病院 訪問者の声

昔の医療機器を展示することで、より最新医療機器の発展への期待が高まった。(来場者/ものづくり企業)

通常であれば目にする機会が無い最新機器を間近で体感できるのは貴重な体験。今後もぜひ続けて欲しい。(来場者/学生)

メディカルクリエーションふくしまとは?

異業種の企業、メーカー、大学、研究機関等が一堂に交流し、オープンイノベーションを促進させる医療機器設計・製造展示会です。福島県では2005年から、異分野製造業の高い技術力に着目し、これらの医療機器分野への新規参入促進を目指して「うつくしま次世代医療産業集積プロジェクト」を実施しております。東日本大震災後は、新たな時代をリードする新産業を創出するため、復興計画重点プロジェクトの一つに同産業の一層の集積を掲げて取り組みを進めており、その主要な柱が「メディカルクリエーションふくしま」です。

次回開催予告



2023 11/1(水)・2(木)

会場:ビッグパレットふくしま  
皆様のご参加をお待ちしております!  
出展の受付は2023年3月～(予定)

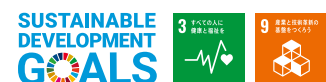
お問い合わせ

メディカルクリエーションふくしま実行委員会

構成団体:福島県、郡山市、ふくしま医療機器開発支援センター、福島県医療福祉機器産業協議会、福島県医療機器販売業協会、一般社団法人福島県臨床工学技士会、一般社団法人福島県理学療法士会、公立大学法人福島県立医科大学、日本大学工学部、株式会社東邦銀行、公益財団法人福島県産業振興センター、公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

〈事務局〉ふくしま医療機器開発支援センター  
〒963-8041 福島県郡山市富田町字満水田27番8

☎024-954-4014 ✉mcf@fmdipa.or.jp



「メディカルクリエーションふくしま」はSDGsのゴールである「3 すべての人に健康と福祉を」と「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」の達成に貢献するための取組です。





屋外には最先端の医療車両や災害関連製品を展示



出展者、来場者が参加した名刺交換・交流会



医療施設用・介護支援用ロボットの実機装着体験



約150名の学生が参加したハンズオンツアー

## 特別連携企画 医療機器開発連携推進ネットワーク 合同シンポジウム

### ～地域の枠を超えて福島がつなぐ～

医療の明るい未来を創造するために、地域・立場を超えた支援・推進ネットワークを作ろう！臨床系の医療機器開発拠点と企業をサポートする医療機器開発支援拠点が、それぞれの得意分野や課題を共有し、新しいネットワーク構築について考えました。



- 聴講者の声**
- 医師や支援拠点など様々な世代、立場の人々のアイデアを聞くことができワクワクした。(来場者/ものづくり企業)
  - 理工連携の課題がよくまとめられており大変参考になった。(来場者/大学・研究機関)
  - 医療機器開発の現場について、医師の冷静な意見を聞くことができ、すばらしい内容で時間が足りないほどだった。(出展者/医療機器メーカー)

**パネリスト**

「和(やわらぎ)」医療機器開発連携推進ネットワーク

国立大学法人北海道大学 北海道大学病院 医療機器開発推進センター 副センター長・診療教授	七戸俊明 氏
国立大学法人京都大学 京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 医療開発部 医療機器・体外診断薬支援ユニット 特定講師	服部華代 氏
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター 先進医療研究開発部 部長	金村米博 氏
国立大学法人神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター・未来工学研究開発センター 特命准教授	保多隆裕 氏
国立大学法人岡山大学 岡山大学病院 新規医療研究開発センター 次世代医療機器開発部 副部長	伊東孝 氏
国立大学法人広島大学 広島大学病院トランスレーショナルリサーチセンター センター長・広島大学副理事	津賀一弘 氏
国立大学法人鳥取大学 医学部医学教育講座医学教育学分野兼 医学部附属病院 新規医療研究推進センター 教授	植木賢 氏
国立大学法人大分大学 大分大学医学部附属 臨床工学センター 教授	穴井博文 氏
<b>地域医療機器開発支援拠点</b>	
公益財団法人さいたま市産業創造財団 医療ものづくりコーディネーター	山田登 氏
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点(はままつ理工連携拠点) 事業総括	牧野謙二 氏
大阪商工会議所 産業部 ライフサイエンス振興担当	竹中僚牙 氏
九州ヘルスケア産業推進協議会(HAMIQ) 事務局業務部長	矢田部律夫 氏
<b>モデレーター</b> 一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構 事業企画推進部 部長	石橋毅 氏

## Pick up メディクリラジオ ～みんなで悩みを聞こう～

出展者をゲストに迎え、ニーズの見極め方や医療従事者とのやり取りなど製品開発でよくある悩みに、臨床工学技士がラジオ形式で回答しました。参加者のトークは会場内の様々な場所で流れ、気軽に聞くことができました。



- パーソナリティ**
- 医療法人あけぼの会花園病院 臨床工学部長/透析センター技士長 守澤隆仁 氏  
株式会社麻生飯塚病院 臨床工学部 副技師長 井桁洋貴 氏  
一般社団法人福島県臨床工学技士会 会長 出羽仁 氏  
一般社団法人宮城県臨床工学技士会 会長 尾越登 氏  
神戸大学医学部附属病院 臨床工学部門 臨床工学技士長 加藤博史 氏  
一般社団法人若手臨床工学技士会 顧問 菊池雄一 氏

- 参加者の声**
- 悩み相談のハードルが下がった。また、相談先を教えてください。ただ今後の参考になった。(来場者/医療機器メーカー)
  - 臨床工学技士と様々なお話ができ、医療現場における現状や新たなニーズを知ることができた。(出展者/製造業[未参入])
  - 臨床工学技士と面識を持つことができ、今後の営業活動につなげることができそう。(出展者/製造業[未参入])

## 第11回メディカルクリエーションふくしま(MCF)大賞

本賞は、医療機器関連分野における新しい製品や技術を開発している出展企業の事業促進、モチベーション向上、及び企業の技術力を発信することを目的とし、開催しています。

**メディカルクリエーションふくしま大賞 ヤマウチマテックス株式会社**  
(福井県福井市)

・チタン合金の極細線事業。純チタンは70μm、チタン合金は50μmに加工。  
・医療への応用を想定し、極細線を使用した円筒状の編み物を作成することが可能。

**優秀賞** (長野県岡谷市)  
**サイウインド株式会社**  
人工呼吸器の回路を保持するフリーストップサポートアーム。

**技術奨励賞** (福島県郡山市)  
**日本電産コパル株式会社**  
幅広い需要のギヤードモータや駆動装置の設計・製造。

## 開催セミナー

### オープニングセミナー 救急・災害医療における医療機器の価値

変化する救急・災害の現場で活躍が期待される最新の機器の開発経緯や今後の課題から、医療機器メーカーやものづくり企業が救急・災害医療にどのように貢献することができるのか議論しました。

- 座長** 一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構 理事長 菊地眞  
**パネリスト** 独立行政法人国立病院機構本部 DMAT事務局 局長 厚生労働省DMAT事務局 小井土雄一 氏  
医療法人伯鳳会東京曳舟病院 病院長 山本保博 氏  
東京女子医科大学先端生命医学研究所 特任講師 吉光喜太郎 氏

### 人材育成セミナー① 公正競争規約と最近の動向

近年の違反事例から、公正競争規約のポイントを学びました。

- 講師** 医療機器業公正取引協議会 事務局 津藤保 氏

### 人材育成セミナー② COVID-19感染症対策最前線

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症について、当時と現在の感染対策の違いやコロナウイルスの性質について学びました。

- 講師** 福島県立医科大学 感染制御学講座 教授 金光敬二 氏

- 薬機法セミナー** ・設計バリデーションとユーザビリティエンジニアリングの進め方 **講師** アクアシスラボ 代表 細田誠一 氏  
・QMS運用の実際～絶対外してはいけないポイント～ **講師** 株式会社MDAコンサルティング 菊地康博 氏

## 出展者限定企画

### 医療機器専門家 スペシャリストブースツアー

臨床工学技士・理学療法士・作業療法士・看護師及び、医療機器メーカーOBを招聘。こうした専門家が出展者のブースを回り、医療機器に関するニーズや開発中の機器に関する相談、自社技術の医療分野への応用等についてその場でアドバイスしました。専門家のコメントはフィードバックシートにまとめ、後日、参加した出展者にお渡ししました。



- 参加者の声**
- 専門家ならではのアイデアや製品のヒントをいただくことができ、開発の参考としたい。(出展者/製造業[未参入])
  - 気軽にざっくばらんな助言をいただける良い機会となった。(出展者/製造業[未参入])

### 困りごと掲示板(19件掲示)

医療従事者等から集めた困りごとを「困りごと掲示板」として会場に掲示し、出展者の製品開発のヒントとしていただくなど、製品発案の機会の創出を図りました。

### 病院バックヤードツアー(後日開催) 2023/1/20

「福島県立医科大学附属病院」の手術室やICUを見学し、臨床現場で医療機器がどのように使用・保管・管理されているかについて学ぶツアーを開催しました。

- 無料相談** ・PMDA「レギュラトリーサイエンス(RS)総合相談」 ・福島県薬務課「医療機器関連業取得相談」

## 学生参加企画

**ハンズオンツアー** 福島県内の高校生や医療系の専門学校生に、医療関連産業に関心を持ってもらうことを目的としてツアーを実施。出展企業ブースや特別企画ブースをツアー形式で回り、医療産業の魅力や医療機器の面白さを知ってもらいました。



- 参加学生の声**
- 治療を施す方の安全を考慮するシステムがとてもよかった。(専門学校生)
  - 医療機器は神秘的で細かくできており面白かった。(高校生)

### 第3回創生アイデアコンテスト

「医療や介護、病気の予防、またそれらを支える医療機器の開発など」をテーマにアイデアを募集し、全国から81件の応募がありました。そのうち一次審査を通過した8チームがステージでプレゼンテーションを行いました。

- 最優秀賞** 腹笑い～はらで笑って福が来る～  
応募作品:「笑う」ことを意識し健康への動機付けとする機器  
YUN YON YAN Project Team(福島県立清陵情報高等学校)

- ファイナリストをご紹介します!(チーム名/学校名)**
- Togoチルドレン(九州大学)
  - 碓井厚希(大阪工業大学)
  - Both Easy Go(福島県立医科大学)
  - YUN YON YAN Project Team(福島県立清陵情報高等学校)
  - つつむ(滋賀医科大学)
  - 日大東北高校&日大工学部ProLab コラボチーム!(日本大学工学部・日大東北高等学校)
  - チームGHS(京都大学)
  - GEIKO DRIPS(九州大学大学院)
- ※発表順